

『PCA hyper 人事管理シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.01プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

SCY220817

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

◆全体

- ・健康診断結果報告書に対応しました。

◆各処理

◇「管理帳票」－「定期健康診断結果」－「定期健康診断結果の集計条件パターン登録」「定期健康診断結果の確認」

- ・所轄の労働基準監督署への提出を義務付けられている「定期健康診断結果報告書」に記載する各種人数などを集計できるようになりました。

◇「管理帳票」－「構成帳票レイアウトの登録」「構成帳票」

- ・縦横項目に障害区分・障害の程度が設定可能になりました。障害区分、または障害の程度を使用したレイアウトで集計することで障害者の構成・可視化を行うことができます。

◇「随時」－「汎用データの作成」「汎用データの受入」

- ・社員の労働条件通知書データについて、汎用データの作成、受入ができるようになりました。
- ・受入パターンを使用して受入することで、他社製品の汎用データを受け入れることも可能です。

◇「グループ企業管理」－「出向・転籍処理」－「出向・転籍社員の登録」「出向・転籍社員の転送」「出向・転籍社員の受入」

- ・役職、職務、職種を異動配属データとして転送・受入できるようになりました。これにより、出向先の異動配属情報にも反映できるようになりました。

◇「セキュリティ」－「管理項目レベルの設定」

- ・全選択、全解除、検索機能を追加しました。

◆互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

- ・データ領域のバージョンを「6.41」に更新しました。

◇APIの変更について

- ・「社員」－「健康診断結果データ」
- ・「労働条件通知書」の検索機能改善としてFind機能を公開しました。

◇汎用データレイアウト変更について

以下のデータレイアウトを追加しました。

- システム定義マスター

- ・健康診断コース
 - ・健康診断受診機関
 - ・健康診断結果提出
 - ・健康診断指導結果対応
 - ・産業医
- 社員
- ・健康診断結果
- 労働条件通知書データ